

平成30年度 第3回 広報広聴モニター会議録

日 時 平成31年2月26日(火) 10:55 ~ 12:50
場 所 北2条仮庁舎 庁議室
出席者 辻市長(昼食懇談会から)
市民環境部 佐野部長、井上次長
市民の声をきく課：藤井課長、新谷係長(市民相談係)、
高橋係長(広報係)
モニター：12人中8人出席

1. 市民環境部長あいさつ

2. 広報きたみ等に対する意見交換

(1) 「市長への手紙」の中間報告・・・ 新谷係長

広聴業務の一つ、市長への手紙は、毎年広報きたみ6月号に掲載し、テーマを決めずに広く市民の皆さまからご意見・ご要望をいただいている。

平成31年1月31日現在、112名から160件のご意見・ご要望をいただいた。昨年同時期は128名、190件のご意見をいただいております、17名・32件の減少となっている。

主なご意見上位3項目は、公園、街路樹・花壇の維持管理関係が26件、スポーツ振興や施設の維持管理・公民館など文化施設の関係、道路維持管理・除排雪関係。傾向として、昨年同様、都市建設部(公園緑地課、道路管理課)所管のものが多数寄せられている。

今年度から、性同一性障がいがある方へ配慮し、様式の性別欄を廃止した。

住所・氏名等の必要事項を記入されている場合は、原則市長名で文書回答をしている。対応を急ぐべき案件、口頭による回答の方がふさわしいと判断した案件では、担当部署がご本人と面会するなどの対応をしている。

30年度の集計結果については広報きたみ6月号に掲載予定。

(2) 「市長への手紙」以外の広聴業務の中間報告・・・ 新谷係長

市民の声をきく課では、市民の皆さまから市政に関する要望、意見、苦情や相談を受け、関係する部署と連携し、市政への反映を目指しているもの。

平成31年1月31日現在、町内会や各種団体からの陳情・要望48件(259項目)、市長への手紙112件(160項目)、市民の声101件(111項目)、市長へのポスト47件(50項目)、市ミントボックス30件(30項目)、移動市長室は未実施、施設見学会9回(市主催4回、町内会主催5回/合計273人参加)、パブリックコメント9テーマ(53件の意見)。

全体では道路整備や河川関係、除排雪に関するものが最も多く、次いで広報
広聴・市民相談に関するものが多い。

(3) 意見交換（要約しています）

モニターA：移動市長室は自治区からの要請で行うものなのでしょうか。

市民の声をきく課長：町内会等各種団体からのご要望を受けて、当課で日程
調整を行い実施するものです。辻市長の就任後、開催
回数は1回となっております。災害対応など多忙につ
き日程調整が難しい状況です。地域のお祭りなど、市
民の皆さまと直に接する機会はできるだけ設けるよ
うにしているとの認識であります。

モニターA：以前の市長と比べるようで失礼かもしれませんが、小谷市長の
ときは多く開催されていたように思います。

市民環境部長：現在、移動市長室を蔑にしているというわけではありませ
んが、結果として開催されていないことは事実でございます。

モニターA：市民の生の声を市長に届ける機会ですので、できれば開催を前
向きに考えてもらいたいと思います。

市民環境部長：実施の方法、周知の方法などを詰めて、皆さんにお知らせし
たいと思います。

(4) 広報11～3月号について・・・ 高橋係長

①11月号

表紙（風景「野付牛公園のエゾリス」）、平成29年度決算報告、平成29
年度企業会計決算と上下水道局からのお知らせ、クールチョイスオホーツ
クin北見、高知県佐川町姉妹都市提携30周年、アジア国際子ども映画
祭 など

②12月号

表紙（オクトーバーフェスト）、除雪シーズン、教育委員会からのお知ら
せ、市役所の年末年始休み期間の変更 など

③1月号

表紙（カーリングポスト除幕式）、市長・市議会議長の年頭あいさつ、安
全安心の地域づくり推進協議会からのお知らせ、クールチョイスオホーツ

クイン北見 など

④2月号

表紙（常呂地方卸売市場初競り）、協働のまちづくり、北海道日本ハムフ
ァイターズ開幕シリーズ 2019 へのご招待 など

④3月号

表紙（冬まつり）、道知事・道議選挙、高齢者・障がい者バス料金助成制
度 など

⑤その他

前回のモニター会議で質問をいただいた、9月号掲載の「2018 おんねゆ・
いただきますフェスタ」記事に添付した割引券の使用実績について、2日
間のイベント中、初日に9件・2日目は0件であった。利用が非常に少な
いことから、12月号に掲載した類似のイベント（道の駅おんねゆ温泉ク
リスマスナイト）では、割引券の添付を見合わせた。

従前、表紙写真では、人物にパンチ穴がかからないよう配置していたが、
そのせいで写真の選択に制限があった。他自治体の広報紙をいくつか参考
に、12月号以降は写真の配置についての制限を緩めている。具体的には、
人物の顔にパンチ穴がかからない程度に配置している。

12月上旬に新元号の発表時期など閣議決定されたことを受けて、1月号
以降、改元後の日時を含む記事が掲載されたページ上部に「改元が予定さ
れていますが平成表記としている」旨の注釈をつけている。

2月号15ページの公民館まつりの記事について、日時に誤りがあった。
3月号に訂正記事を掲載したほか、関係団体に訂正と謝罪の連絡をして対
応したところ。

(5) 意見交換（要約しています）

モニターB：広聴業務について、先ほど街路樹に関する意見・要望が多か
ったと説明がありましたが、傾向として「切ってほしい・減
らしてほしい」「切らずに残してほしい」のどちらが多いもの
でしょうか。

市民の声をきく課長：ほとんどが「切ってほしい」という主旨のものです。

モニターB：私個人としては、むやみに減らさないでほしい・街路樹を大
切にしてほしいです。現状に不満がある人は投書するののでし
ょうが、現状が良いと思っている人は投書しないでしょう。
投書されたご意見への対応を協議する際は、その点を考慮し
ながらあたっていただきたいと思います。

市民の声をきく課長：ありがとうございます。

市民環境部長：例として挙げた街路樹に関するお話しで申しますと、市の政策として緑を減らすということではなく、街路樹を切るときは、他に被害を与えるおそれのある老木に対するものが主となります。今後も、いただいたご意見は個別に妥当性を判断しながら担当課と協議し、対応を考えてまいります。

モニターC：11月号表紙の、樹上のリスという写真は北見以外の場所でも撮れるものだと思います。北見ということがわかる建築物が写っているだとか、市民と一緒に写っているといった写真であったならばもっとよかったと思います。

広報係長：今後の参考とさせていただきます。

モニターB：3月号のバス乗車証更新の記事については、乗車証取得の手続きに関するのみで、乗車証の内容（どう使うのか、範囲はどこまでなのか）がわからないので、新規に取得することになる人に対して訴求しないのではないのでしょうか。

広報係長：確かに、今現在バス乗車証を利用していない方の視点が抜けていました。今後、手続きについて案内する同様の記事を作成する際には、制度の説明と合わせてご案内する構成とするよう改めさせていただきます。

モニターD：個人的なことですが、最近、活字を読むのには老眼鏡が手放せなくなりつつあります。制度の複雑化など、文字が多くなってしまふことは避けられないのかもしれませんが、適切な字の大きさを保っていただきたいです。

広報係長：文字の大きさについては、現在以上の大きさを堅持します。

市民の声をきく課長：以上をもちまして、意見交換を終了させていただきます。本日はありがとうございました。

3. 市長との昼食懇談会